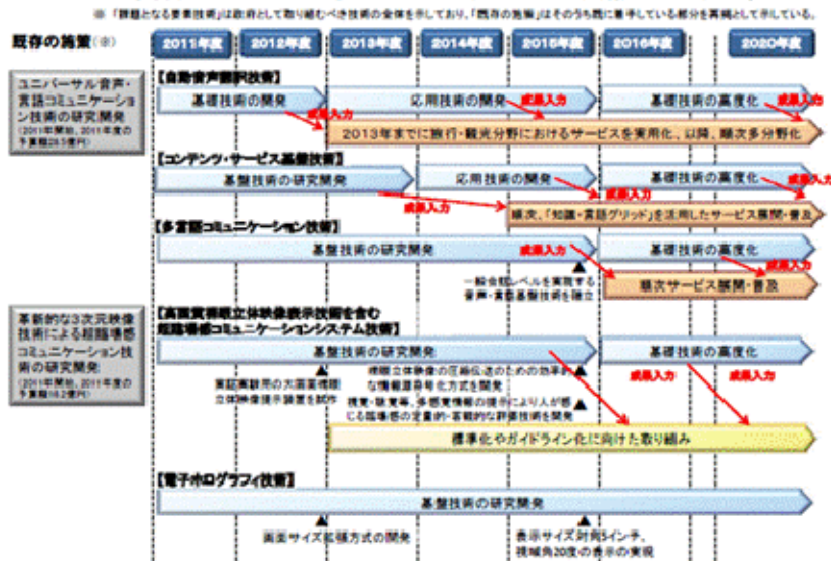


コミュニケーションの高度化「人と社会にやさしいコミュニケーションの実現」のロードマップ (ユニバーサルコミュニケーション、コンテキストウェアネス、ユーザーインターフェイス分野)

(2) ライフイノベーションの推進	
(2) ②人と社会にやさしいコミュニケーションの実現	
目指す政策目標(成果のアウトカム)	人と人、人と機器の間でストレスを感じることなく意思を伝えることを可能とするなど、人と社会にやさしいコミュニケーションを実現し、国民生活の利便性の向上や豊かで安心な社会の構築等に貢献する。
技術分野の概要	利用者がOTの介在を要することなく、真に人と人の親和性の高いコミュニケーションを実現するユニバーサルコミュニケーション技術、利用者の意図や状況に適切ながら最適なサービスを提供することを可能とするコンテキストウェアネス技術及び誰もが容易にIGTを利用することと可能とするユーザーインターフェイス技術を創出する。
主な目標と期限	<ul style="list-style-type: none"> より自然で円滑なコミュニケーションの実現は、情報通信技術の利活用促進を担う根幹技術であり、モース信号から音声へ、音声から映像へと発展を遂げてきたと同様、継続的に取り組まれるべき領域である。 このような中、ユニバーサルコミュニケーション技術については、自然で円滑なコミュニケーションを実現するための根幹的な技術であることから、言語の壁を超えるコミュニケーションを実現する音声・言語コミュニケーション技術、インターネット上の膨大な情報から価値ある情報を抽出する情報分析技術、テレコミュニケーションであることを感じさせない超臨場感コミュニケーション技術などの基本技術について、2015年度の確立を目標とする。 コンテキストウェアネス技術、ユーザーインターフェイス技術については、サービス依存の部分が大きく、民間の力により既に一部で実用がなされている領域もあるが、より一層の高度化に向け、国際標準化の動向等を見据えつつ、国としての取り組みも検討する。



2020年度までのユニバーサルコミュニケーション技術のロードマップ



2020年度までのコンテキストウェアネス技術のロードマップ



2020年度までのユーザーインターフェイス技術のロードマップ

